

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業【C区分】

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社東京合唱協会
公演団体名	東京合唱協会

内容
<p>基本的には、A区分に準じますが、あまりに人数が少ない学校の場合は、全校がワークショップ参加者となります。そして、主たる指導者と歌手、振り付け者とピアニストが、歌の指導と共に振り付けの仕方や、全体のフォーメーションの作り方を指導していきます。</p> <p>児童生徒や、前もって指導される先生方のために、楽譜や振り付け等の説明書を、最終完成形態の参考として各学校にお送りします。楽譜の難易度も、生徒さんたちに合わせて何パターンか用意しており、先生にその中から事前に選択して頂き、多種多様な参加形態にも音楽的に対応できるよう配慮しております。その意図は</p> <p>●最終的に子供たちが一期一会の、‘音楽を媒介とした集団創造の規律と喜び’等を本番で最大限に体験して頂くために、万全な準備をする。</p> <p>◎C区分の場合、学校の規模によっては、生徒さんが合唱団と一緒に歌い踊っている際、体育館のお客様は教職員と、近隣の方々のみということもかなりの率で起こってまいります。そういった場合には、その場の雰囲気を見ながら、当団の司会者が臨機応変に観客の大人の方にも、簡易な何かで一緒に参加して頂く場合もあるかもしれません。すべて会を参加者全員で盛り上げ成功裏に終了できるようにするための演出の一環です。</p>

タイムスケジュール（標準）
<p>ワークショップ開始 30 分前位までに学校に到着。体育館に生徒たちの本番の配置や、歌いながら踊ったり行進したりする流れが、生徒さんたちに簡単に理解して頂けるよう、準備します。ワークショップ自体は約 90 分行い、終了後 10 分ほど、体育館の片づけをしてから退校予定です。</p>

派遣者数
主たる指導者 1 名；その他指導者 3 名

学校における事前指導
<p>事前に当団から送られた楽譜に従い、歌の練習をして戴きます。そして一緒に送られた以前の学校による生徒さんと当団との合同演奏、特に簡単な振り付けや移動の仕方の実演のDVDを見て頂き、ある程度のイメージを持ってワークショップに臨んでもらえることを期待しております。</p>

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業【C区分】

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社東京合唱協会
公演団体名	東京合唱協会

演目
<p>【第1部】楽しい合唱(35分)</p> <p>小学生；歌えバンバン・ピクニック・ソーラン節・翼をください・YUME 日和・気球に乗ってどこまでも・ハレルヤ君をのせて、他より</p> <p>中学生；ハレルヤ・アヴェヴェルムコルプス・フニクリフニクラ・遠い日の歌・大地讃頌・花(女声)・いざ起て戦人よ旅立ちの日・他より</p> <p>独唱・二重唱・四重唱より(15分)</p> <p>全員合唱；学校の希望曲(校歌を含む) 独唱；さっちゃん・おしえて・エーデルワイス・オーソレミヨ・他より学校の希望曲</p> <p>四重唱；筑波山麓合唱団(コミカルな演技を伴う男声四重唱)</p> <p>【第2部】歌って踊って“衣装を替え、楽しい振り付けにより華やかに”(下記《a》《b》より1演目を学校が選択)(15分)</p> <p>小学生 《a》ディズニーソングメドレー 《b》サウンドオブミュージックメドレー</p> <p>《a》 ハイホー・星に願いを・チムチムチェリー・ビビディバビディブー・小さな世界他(11分)</p> <p>《b》 テーマ・マリア・一人ぼっちの羊飼い・エーデルワイス・ドレミの唄・すべての山に登れ(11分)</p> <p>中学生 上記《a》《b》の他、《c》歌劇「椿姫」より“乾杯の唄”(3分)《d》歌劇「カルメン」より“ハバネラ”(3分)“闘牛士の唄”(3分)を学校が選択</p> <p>所要時間；小学校 75分 中学校 85分</p>

派遣者数
合唱団員 14名 指揮者 1名 ピアニスト 1名 計 16名名

タイムスケジュール(標準)
10:00～舞台設営 10:30～リハーサル開始 11:30～生徒参加(ワークショップを受けた生徒)による合同リハーサル 12:00 終了 13:30 開演 14:50 終演 15:30 分頃 片付け終了 16:00 退校

実施校への協力依頼人員
特にございません。

演目解説

【第1部】 通常の合唱も、曲によっては音楽に合った振り付けやコミカルな演技、簡易な楽器も加える等により、視覚、音楽の両面で、大変楽しく鑑賞できます。

【第2部】 全員合唱と、ソリストの本格的独唱または2重唱、そしてコミカルな四重唱

【第3部】 女声団員は華やかなドレスに衣装替えして登場、歌劇「椿姫」より“乾杯の歌”や歌劇「カルメン」から“ハバネラ”“闘牛士の唄”は、日本の有数の歌劇場でソロをやっている団員を中心に、歌劇の一場面を彷彿させる総合歌唱力と演出に、生徒さんたちは魅了され、貴重な体験をして戴けます。

「サウンドオブミュージックメドレー」や、「ディズニーソングメドレー」に振り付けられた踊りや、様々に変化する歌手のフォーメーションの多彩さは、長年改良に改良を重ね、当団にしかなできないオリジナル版として、親しみあるメロディと高度な歌唱力に伴われ、大変好評です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

児童生徒参加の曲に、ディズニーソングメドレーを選んだ学校は、合唱団が有名なディズニーソングを数曲歌い踊ってきた後、終曲の「小さな世界」で、特別編曲された入場の音楽に乗って、子供さんたちが舞台上に登場し、当団団員と一緒に、ワークショップで練習した歌と踊りを披露します。皆さんノリノリで歌い演じています。曲の最後には全員が一致して見事な扇型を造り、その見事に決まった華麗な一体感は、そこに居合わせたすべての方々に感動を与えます。その他、サウンドオブミュージックを選んだ学校も、同様に歌いながら最後に見事なフォーメーションを創り上げます。さらには中学校で、「カルメン」の中の「ハバネラ」や「闘牛士の歌」を選んだ学校は、生徒さんが村人になったり、闘牛士に扮装し、特別編曲した曲を歌い演じていき、観客の生徒さんや先生方からたくさんの拍手をもらっています。

児童生徒とのふれあい

全員合唱の際は、生徒の間に入り、生徒さんたちに模範の発声を直接身近で聴かせ、また声の出し方等の質問にも、その場で積極的に答えていきます。ただ、本年はコロナの関係がありますので、その時のコロナの状況を見ながら、お互いにマスクした状態でも、伝えられる内容を臨機応変に考え、対応していきます。一番重要な事は、生徒さんたちと直接の交流を図り、ただ受け身で鑑賞するだけではなく、上手く互いにキャッチボール出来るようにという、各団員たちの熱い気持ちや、どのようなコンディションの中でも、生徒さんたちが、大人になるまで心に残るものを与えることができると信じ、活動しております。